

## アメリカにおける 「難病」の公費負担



血液の透析がないと明日の生命があやうい腎患者シェップ・グレーザー氏(セールスマン)が、歳入委員会の公聴会におもむき、数多くの不治の病で「難病」にかかっている患者への財政援助を訴えたのは、1年前のことであった。彼の証言とその他多数の要望書をうけて、合衆国議会は、腎症患者約1万人への公費負担をする制度をきめた。

この援助は、社会保障法についての多くの改正法から構成されている下院法案1号とよばれるもののなかに含まれるものである。それは、適用範囲、給付内容、連邦の公的扶助についての原理についての実質的な改正をめざしたものであった。たとえば、メデケアの適用範囲は、障害給付を受けている170万人

にも拡大され、1965年のメデケア施行以降、65歳以下の者の加入が初めて認められた。

この法案は、社会保障給付をうける資格がない約100万人の退職者にたいして、月130ドルの最低保障給付を与えることをきめたものである(夫婦にたいしては195ドル)。これは、社会保障制度が、はじめて、拠出の有無を問わず、すべての65歳以上のアメリカ人にたいし何らかの生活保障の責任をもったことを意味するものであった。

人工透析患者にたいしては、その医療費が年に平均して5千ドル、少し多く使うとすぐ2万ドルになるという高額であることを十分配慮した。腎患者は相対的には少人数であるが、この新しい社会保障法による援助は、数

年をへずして、その他の高額医療を要する患者、数万人へのメデケア給付へとつながる可能性がある。連邦保健教育福祉省の一員は、「透析への公費負担は、テントから鼻だけ出ているラクダのようなもので、いわゆる『難病』catastrophic illnessesにたいする医療費の連邦負担への道を歩みだしたことを意味する」とのべた。

『難病』救済は、下院で注目を集めている。経済的に身体的に破滅しかねない患者にたいするもので、メデケアもしくは国民健康保険制度を通じて給付しようとするものである。しかしながら、下院は、この救済を決めることにはしぶっているのが現状である。したがって、人工透析公費負担については、いろいろの評価がよせられることになる。「いずれにせよ、来年は、ガンや白血病、血友病、多発性硬化症、その他の病気の患者への同様の公費負担要求の陳情が高まり、結局は、陳情の強さとは別に、すべての『難病』の問題がとりあげられることになるだろう」という見方もある。

もっとも、下院法案1号の制定そのものが

はっきりしていない。ホワイトハウスの行政・予算局がその実施方法にたいして異議を有している。ニクソン大統領は、インフレを招くという理由から、これら改正法と50億ドルの予算を不裁可することはできるが、もしこれをすると、腎患者と身体障害者への公費負担によって火をつけられた運動が、メデケア

拡充運動となって、来年にはさらにいっそう広がるであろう。

Richard D. Lyons : Medicare-When Disastrous Illness Strikes-, *The New York Times (Weekly)* Oct. 22, 1972.

(前田信雄 国立公衆衛生院)

(追記：昨年暮，下院法案1号は制定された)

## アメリカ・老人健保の被保険者



アメリカの健康保険制度は65歳以上の老人を対象としており、強制的な病院保険と任意的な補足的医療保険との二本建てになっている。病院保険によって支払われるのは入院サービスおよび退院後の医療サービスであって、連邦公務員等一部の人びとを除いて65歳以上の全老人に強制的に適用されている。財

源は雇主、被用者および自営業者の拠出によってまかなわれている。

補足的医療保険によって支払われるのは開業医サービス、家庭保健サービス等で、月額5.30ドルの拠出を条件として加入者に支払われる。

1966年に老人健保の制度が発足した当時は

その適用者は1,911万人であったが、老人人口の増加(65才以上の老人は1966年—1970年の間に7.8%増加した)にともない、1970年には2,050万人に上昇した。これは7.2%の増加であった。

65歳以上の老人のほとんどが病院保険の適用者であり、ほとんどの老人が補足的医療保険に加入している。1970年病院保険の適用者は2,036万人、補足的医療保険の加入者は1,958万人、両保険に加わっている人は1,946万人、病院保険だけに入っている者は91万人、補足的医療保険だけに入っている者は13万人であった。1966年から1970年までの適用者数の増加は病院保険の6.7%に対して補足的医療保険は10%とより高い増加率を示している。

病院保険の適用者にしめる男女の構成比は約4対6で女性が多く、また女性の割合は、1966年以来増加する傾向にある。これは75歳以上の老人にしめる女性の割合が多くなったことに原因している。

病院保険の適用者にしめる白人およびその他の人種の割合は、白人89%、その他の人種